

第2回尾張旭市総合計画審議会 会議録

- 1 開催日時
令和5年6月23日（金） 午前10時から11時30分まで
- 2 開催場所
尾張旭市役所南庁舎3階302・303会議室
- 3 出席委員
鈴木 厚子、荒谷 弘美、森 喜美、朝見 政広、高橋 芳江、
星野 幸子、フロルデリスゴメス 佳子、杉本 祐也、岡崎 信久、
松宮 朝、伊藤 雅一、加藤 千晴、山本 恵美子 13名
- 4 欠席委員
佐藤 庸子、三浦 哲司 2名
- 5 傍聴者数
2名
- 6 出席した事務局職員等
企画部長 松原 芳宣、企画課長 谷口 洋祐、課長補佐 寺尾 綾、
政策企画係長 田中 広樹、政策企画係主査 北川 歩、
政策企画係主事補 伊藤 舞香
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)名古屋（MURC） 佐々木 雅一
- 7 議題等
 - (1) 基本構想（素案）の検討経緯について
 - (2) 基本構想（素案）について

会議の要旨

企画課長	<p>ただいまから第2回尾張旭市総合計画審議会を始めさせていただきます。私は、令和5年6月1日付けの人事異動によりまして、企画課長を拝命することとなりました谷口と申します。</p> <p>第1回を3月に開催し、かなり日も空きましたが、引き続き、御協力のほど、よろしく申し上げます。</p> <p>さて、同じく6月1日付けの人事異動により、3月に御挨拶させていただきました企画部長の臼井が異動となりましたので、少しお時間をいただき、新たに企画部長に就きました松原より御挨拶を申し上げます。</p>
企画部長	<p>改めまして、こんにちは。企画部長の松原でございます。</p> <p>皆様本日は、大変お忙しい中、本審議会に御参加くださ</p>

	<p>り、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本計画の策定に対して、市内部の総合計画策定会議の一員として、これまで関わってまいりました。</p> <p>これまでは、市民アンケートや市民ワークショップの結果を踏まえながら計画策定を進めてまいりました。皆様方には、是非ともそれぞれの団体の立場で、また市民や一個人として、私どもが取りまとめた素案を御確認いただき、忌憚のない御意見を頂戴できればと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>簡単ではありますが、私からは以上でございます。</p>
企画課長	<p>それでは、開催に先立ちまして、委員の交代がございましたので、御報告いたします。尾張旭市小中学校PTA連絡協議会の山内会長におかれましては、5月9日に同協議会の会長を退任され、新たに朝見会長が就任されました。これに伴い本審議会の委員も交代していただくこととなりました。</p> <p>朝見委員、どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>また、本日は、所用により、名古屋市立大学の三浦委員と尾張旭市商工会の佐藤委員が欠席されると事前にお伺いしておりますので、お伝えさせていただきます。</p> <p>本日は15人中13人の出席をいただいておりますこと、委員の過半数の御出席をいただいておりますことを御報告いたします。</p> <p>それでは、ここからは伊藤会長に、会の進行をお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>本日は、第2回目の全体会を招集しましたところ、皆様には御多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議につきましては、お手元に配付しております次第に従って進めますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、議事に入ります前に、3月に開催しました本会議において、バックキャスティングとフォアキャスティングの考え方の整理と財政推計について、市で検討することとなっていたと思っておりますので、検討結果などがあれば説明してください。</p>
政策企画係長	<p>企画課の田中です。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、第1回総合計画審議会で御意見をいただきました2点について、企画課から説明いたします。</p> <p>まず、バックキャスティングとフォアキャスティングの考え方についてでございます。</p>

	<p>本市においては、市民の皆さんと将来のまちについて、ワークショップを開催し、検討を進めてまいりました。そのめざすまちの実現に向けて、計画を策定するに当たり、財政等の推計や都市基盤整備のようにバックキャストिंगでは、考えることが難しいものも計画内にはございます。このため、バックキャストिंगで考えるところと、現状の積み上げ、いわゆるフォアキャストिंगで考えるところとのメリハリを付けて検討していきたいと考えております。</p> <p>次に財政の推計についてでございます。</p> <p>財政や市の収入に関する推計は、事業者の業績に大きく左右されるほか、近年の新型コロナウイルス感染症のように国から多額の交付金が入ってくることもあり、社会情勢の影響を大きく受けるところでございます。</p> <p>このため、現行の税制度を仮定した税収の見通しなどをお示しし、本市の財政状況をお伝えできればと考えているところでございます。なお、税収の見通しにつきましては、ただいま、担当課で推計作業を進めているところでございますので、資料が整い次第、御提示させていただきます。</p> <p>なお、計画の実効性を担保するための財政の見通しとしましては、毎年向こう3年を計画期間として策定する実施計画の中で、お示ししていきたいと考えております。</p>
伊藤会長	<p>企画課より第1回総合計画審議会で御意見のありましたバックキャストिंगとフォアキャストिंग、それから財政推計について、説明がありました。</p> <p>バックキャストिंगとフォアキャストिंगについては、資料4の3ページ「策定の視点」の中にどういった視点で計画を策定していくかという点で、バックキャストिंगで検討するという説明でしたが、前回の審議会の議論を踏まえまして、バックキャストिंगとフォアキャストिंगを組み合わせる計画を策定していくという説明がありました。</p> <p>財政計画については、実施計画の中で示していくということで、今後、税収の見通し等の資料を作成して配布されるとの説明がありました。</p> <p>ただいまの説明について、何か確認しておきたいことはありますでしょうか。</p>
	(意見なし)

伊藤会長	<p>それでは、計画の策定については、バックキャストिंगとフォアキャストिंगが組み合わさっていくということを御理解いただくことと、財政見通しについては、追って資料が示されるということを御理解いただきたいと思います。</p> <p>それでは、次第に従いまして議事に入りたいと思います。</p> <p>次第2の(1)「基本構想（素案）の検討経緯について」及び(2)「基本構想（素案）について」、関連がありますので、一括して企画課から説明をお願いします。</p>
政策企画係長	<p>(資料7 基本構想（素案）の検討について、資料8 基本構想（素案） 説明)</p>
伊藤会長	<p>ただいま、議事(1)及び(2)の説明がありました。</p> <p>本審議会で調査審議する基本構想（素案）についての策定経緯の説明、それから市が策定した素案の説明でありました。</p> <p>本日の全体会では、総合計画の最も重要な部分である基本構想（素案）、即ち、資料8を中心に調査審議したいと思います。また、資料7は、資料8を導き出すための経緯ということですので、こちらについても御不明な点などがあれば確認をお願いしたいと思います。</p> <p>基本構想は、今後10年間の方向性を定めるものとなりますので、基本構想に沿って具体的な取組が出てくることとなります。この具体的な取組、施策と抱き合わせで、今後審議していくことも必要になってくると思います。そういった意味で、本日は基本構想のみの審議になりますので、審議にも限りがあると思いますが、皆様から御意見をお伺いできればと思います。</p> <p>それでは、ただ今、企画課から説明のあった内容について、御不明点の確認や、それぞれ委員の皆様の立場・視点での提案、また賛同する点など、どのようなことでも結構ですので、お伺いしていきたいと思います。できるだけ多くの方に御発言をいただきたいと思いますので、御協力ください。どなたからでも結構です。皆様いかがでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>今回、めざすまちの未来像が、「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」で、これまでは、緑だとか公園都市など環境について述べてきています。それが今回初めてなくなったということで、その辺りはどのような議論がなされたのでしょうか。</p>
政策企画係長	<p>これまでは、どちらかと言えば、都市づくりに関する表記としてきました。従来の総合計画は、人口増加に対応す</p>

	<p>るための都市づくりとしての性質もあり、緑や公園都市などの都市整備に関する部分が入っていました。</p> <p>第六次総合計画では、都市整備がある程度進んできておりますので、「人の暮らし」というところに着目をして策定を進めてきました。このため、「人」の状況を表すことが適していると考えてこのフレーズを設定しました。</p> <p>ただし、「緑」や「健康都市」というフレーズについては、これまでも看板として掲げてきており、こういった部分は、「人」の「笑顔」や「幸せ」といった表現に含まれていると考えています。</p>
鈴木委員	<p>「人」に着目している点は伝わる表現だと思います。ただ、緑などの環境のことを捨てることに未練はなかったのかと気になりました。</p>
伊藤会長	<p>緑を大切にしていける「公園都市」やWHOの進める健康づくりの「健康都市」は、これまで、尾張旭市の特性を表していたと思います。今回の都市像については、尾張旭市の特性は何なのか。何をブランディングしていくのかが現段階では、少し見えにくいところがあるので、具体的な取組の中で分かれば良いと思いますし、尾張旭ならではの特色が都市像に反映される、あるいは市民の皆さんに共有されると良いと思います。</p>
政策企画係長	<p>ありがとうございます。</p>
朝見委員	<p>「人」にフォーカスしている点は、すごく良いと思い、共感しました。</p> <p>都市づくりにフォーカスしていくというフェーズが最初にあったと思いますが、そこで人にどう暮らしてほしいかといった気持ちというか。私は会社で働いていますが、私の入社時には、会社の福利厚生や年収、寮の有無など、会社の環境が会社を選ぶベースとなっていました。最近の若者たちは、そこで働く人の人間関係や、そこでどういう成長ができるかというところで会社を選ぶ時代になっていると感じています。そのため、会社もすぐに移っていく、探していくという時代になっていると思いますので、その流れにも合っているのです、すごく良いと思います。</p> <p>鈴木委員の意見を聞いて、確かに、公園都市は、みんなが頭の中に同じ映像が浮かぶと思いました。過去に名鉄瀬戸線などに貼ってあったあさびーと森林公園のポスターなどすごくイメージが良かった。</p> <p>こういう「まち」なんだというのが分かり、このまちに</p>

	<p>住みたいというイメージができるところから、こういう生活ができるというイメージを持っていただくという方向に今回振っていると思いますが、それを伝えていくことはすごく難しいと思います。会社内でもそういった議論が良く出ますが、イメージボードや最近では動画などを活用しています。そういったものを作っていく予定などがあれば教えてほしいと思います。</p>
企画課長	<p>まさに朝見委員の意見のように、人の姿ですとか「笑顔あふれる」人の様子は、比較的イメージが湧きやすいところではあると思いますが、どこのまちにおいてもそれは同じです。そうした中では、総合計画を策定する上で、イメージボードのようなものや、「めざすまちの未来像」のロゴマークの中に少しデザイン性を持たせるなど、そういった工夫が必要と感じました。</p> <p>今後、活字だけでも短く、フレーズが分かることに加え、朝見委員から意見のあったことも参考にさせていただきたいと思います。</p>
岡崎委員	<p>同じ関連で、尾張旭に住んで30年以上経つが、道や公園など基盤整備はある程度進んできていると感じています。朝見委員から発言があったように、長く住んでいるとイメージが湧いてくるが、第六次総合計画の10年間で、外に対してもシティプロモーションしながら、どのように人を呼び込んでいくのかといった時に、外の人がこのフレーズを見た時にどういうイメージを持つのだろうかといった点が気になります。「幸せ」や「笑顔」はおそらく、多くの市町が使っているフレーズだと思いますので、これを持ってどのように瀬戸市や長久手市との差別化を図っていくのかという点が非常に難しいと感じます。</p>
企画課長	<p>尾張旭をブランディングしていく、周辺自治体と何が違うのかというところにフォーカスしていかなければいけないところがあり、そうした中では、「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」は、非常にシンプルな構成であり、これまでの計画のような、様々な要素を詰め込んだ結果、若干長いフレーズとなっていたところを短くしたところにおいて、メリットがある一方で、デメリットにもなる部分もあると考えております。</p> <p>それを補完するために、先ほどのイメージボードや第六次総合計画で新たに設定しております「まちづくりの基本方針」があると考えております。特に、1項目目にある</p>

	<p>「楽しさ」や「自分らしく」といったキーワードを「まちづくりの基本方針」として設定しているのは、事務局としてはチャレンジの部分だと考えています。これらの一般的なイメージと、実際に進めていくまちづくり、例えば、今後進めていく三郷駅周辺整備など少し目に付くような事業を、上手く組み合わせながら、市民の皆様、あるいは市外の皆様にPRをしていきたいと委員の意見を聞いて感じました。</p>
伊藤会長	<p>意見を伺っていると、シティプロモーション戦略やブランディング戦略について、現計画には、シティプロモーションという表現が入っていて、それらに取り組んできたと思いますが、今のところ、施策体系等には、表現がされていないため、その辺りが非常に重要になってくると思います。</p>
岡崎委員	<p>計画の主体は、市民に向けたものであると思いますが、その辺りもやはり入っていないといけないと思います。</p>
森委員	<p>この計画は、住みたいまちを作っていくためですね。 愛知県内や日本全国で、住みたいまちというのが出ていて、愛知県では、日進や長久手が上位に来ていると思います。</p> <p>そういう自治体が、何に取り組んでいるかといった点は、当然勉強していると思います。尾張旭として「住みたいまち」を作るために、この計画を策定していくとなると、「緑豊かな」などの「緑」という言葉が常に出てきます。しかし、10年ないし、5年経つと、かなり山が削られ、住宅地が整備され、田んぼが埋められて住宅地ができるのではないかと考えると「緑」という言葉を維持できるかということ心配しながら読んでいました。</p> <p>もう1点が、共生社会という言葉を使っているので、地元、隣近所助け合って、自治会で助け合っていくことを目指していくということだと思います。他の会議でも同じ話題が出てくるが、個人情報の問題が引っかかり、隣の家族構成やお年寄りの有無などがだんだん分からなくなってきました。そういったことから、「ともに助け合う」や「みんなで支えあう」ことに逆行している部分もあると感じています。そういった点をどのようにしたらみんなで支え合えるのかと、連合自治会や社会福祉協議会での話し合いでも話題に出てきます。そういったことを基本構想の中で、どのようにやったら良いかを含めることにより、それ</p>

	<p>らの羅針盤のようなものになると市民にも分かりやすい計画となるのではないかと思います。</p> <p>総合計画は様々な団体等で行う会議などの大本になるため、あまり具体的なことは出せないと思うが、そこへ向かっていける言葉を上手に使っていけると良いのではないのでしょうか。</p>
企画課長	<p>人のつながりが希薄化していくような、色々な社会環境の変化がある中で、少子そして超高齢化が進んでいく中では、本当に地域のコミュニティなどの人のつながりみたいなものがとても大事で、これから10年間をどのように進めていくかによって、その後のまちの在りようなどが変わってくると考えております。</p> <p>これまでの総合計画では、「ともにつくる」や「みんなで支えあう」という、キーワードが入っており、今回の総合計画においても、「まちづくりの基本方針」の(4)のところに「人とのつながり」を大切にします」という方針を定めています。</p> <p>この基本方針のために、どのような取組を行うのか。社会福祉協議会や様々な市民団体がどんなつながりを持つことができるのかが大切になってくると考えています。</p> <p>もう1つには、「めざすまちの未来像」の中に「幸せつむぐ」という言葉があります。「つむぐ」という言葉はやや難しい言葉で、元々は、糸を繭からより合わせるといった意味があり、今では、それが転じて、縦糸と横糸を面的に、重層的により合わせて、布になっていくことや、あるいは、長い時間軸の中で、歴史をつむぐや、物語をつむぐ、あるいは、2人ないし、もっと多人数の人たちが手を取り合っていやっていくという意味があります。そうした中では、「みんなで支えあう」や「ともにつくる」という言葉を、継承していくというような議論を内部でしております。</p>
森委員	<p>もう1点、この資料は、ホームページにも出るとは思いますが、資料7の6ページに「ウェルビーイング」とあります。カタカナをできるだけ使わない方が良いのではないかと思います。毎回意味を調べなくてはいけなくなってしまう。</p>
企画課長	<p>カタカナの言葉については、括弧書きで解説を入れるなど、そうした配慮も今後、検討していきたいと考えております。</p>

	<p>もちろん無理にカタカナを使うことは避けていきたいと考えていて、日本語で表現できるものは、日本語で表現していきます。</p>
岡崎委員	<p>ただいま、企画課長から、「つむぐ」の想いを聞き、聞いていて理解ができ、入ってきますが、文章だけ見るとイメージができないため、もう少し説明を入れていく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>記載のある「積み重ねる」と「つなぐ」でも違うと思いますし、そこをもう少し違った言葉で説明していかないと「つむぐ」という言葉につながってこないと思います。</p>
企画課長	<p>ありがとうございます。</p>
伊藤会長	<p>「人とのつながり」については、以前は新しいキーワードとして表現されたこともありましたが、福祉分野では、「ソーシャルキャピタル」という言葉も使われているかと思えます。</p> <p>尾張旭は、社会福祉協議会やボランティア、NPOの活動も活発であり、私自身、自治会等活動促進助成事業の評価を長年行ってきましたが、尾張旭の自治会は、かなり特色のある取組がされています。そういった人と人をつなげる活動は結構あるため、これを上手く特色として出していけると良いのではないかと思います。</p> <p>市民の皆さんにも、頑張っ活動に取り組んでいるNPOや自治会の活動を知っていただき、その活動に光が当たるとより良いと思えます。</p>
森委員	<p>地域福祉計画や地域福祉活動計画でも自治会の活動などが出てきます。総合計画の中でも、具体的な取組の例が少しでも出てくると良いと思えます。</p>
企画課長	<p>今のことに直接的に関わる部分として、資料8の4ページから7ページまでの部分を少し補足的に説明したいと思います。総合計画なので、全ての行政分野を網羅した計画となります。個別分野で地域福祉計画などもありますが、総合計画では、福祉の分野は4ページの基本目標1に入っています。</p> <p>森委員が所属する、社会福祉協議会の取組などは、施策1-1から1-5の中にうたいこまれていくこととなります。また、6ページの上段の基本目標5で「人とふれあい安心して暮らすまち」の1項目目に「市民によるまちづくり活動の支援」という項目があり、自治会やNPOの取組については、この施策の5-1の中に入るほか、施策5-</p>

	<p>2では、自主防災組織に関する取組が入っています。</p> <p>ここ（基本構想）の中に、具体的な活字として、若干キーワードが入っているだけになっていますが、この後、皆様に部会に分かれて細かく審議していただく内容においては、この施策5-1の中身について、さらに詳しい資料を用意していきたいと思っておりますので、そういった資料も参照しながら、この全体会、それから部会で、ここは具体的に書いた方がよいなどの御意見をいただきたいと思っております。</p>
松宮委員	<p>大きい点と小さい細かな点について、まず、大きい点では、「幸せつむぐ」が、作り続けていく動的なイメージがあり、非常に良いと感じました。自分が逆にイメージしたのは、「幸せつむぐ」ということは、不幸ではないという網の目を作るというセーフティーネットのような意味もあるのではないかと思います。施策の中では、健康でいられるや困難な状況であっても暮らしやすいという、実はそういった意味でも波及するようになる要素として伝われば良いと思います。明るい展望も重要ですが、ベースはセーフティーネットをしっかりと作るという趣旨があると、よりこの言葉が生きてくると思います。特に福祉や医療の分野では大事となり、そういう意味では、安心して暮らせる、困難な状況にあっても暮らしやすいという部分は、対外的な魅力だと思うので、そういう趣旨も含めて少しでも伝わると良いと思います。</p> <p>また、部会資料の、町内会自治会加入率が下がっているという表記があるため、森委員の意見にありました「参加」や「つながり」というニュアンスが、「つむぐ」で動的な形で伝わっていき、今後、「つなげていくこと」が見えてくるようなものとなると計画として良いと思います。</p> <p>次に細かい点で、文言の統一がされていない点が見られるため、統一したほうが良いと思います。例えば、資料7の7ページ「子ども」が漢字であります。他にはひらがなで表記されている箇所があります。</p>
伊藤会長	<p>後段の表現の統一は、企画課で、今後調整してもらえれば良いと思います。</p> <p>その他、「つむぐ」に対して、セーフティーネットに関する意見がありました。事務局から何かあればお願いします。</p>
企画課長	<p>「幸せつむぐ」が動的という表現をしていただいたこと</p>

	<p>と、逆説的には不幸せでないという部分から、しっかりと基盤を作り上げる意味を教えてもらったと感じました。私たちの発想の中では、プラスの方に考えていた部分があったため、新しい気付きでありました。</p>
政策企画係長	<p>意見を聞き、「幸せつむぐ」に対して安心といったワードが大切だと感じたため、反映させていきたいと思います。</p>
岡崎委員	<p>8本の柱について、おそらく少子化対策等「こども・子育て」を切り出して基本目標としていますが、基本目標1にも少子化対策に関する記載があり、ここは、基本目標1と2で連携していくというイメージでよろしいでしょうか。</p>
企画課長	<p>基本目標2が「こども・子育て」に関する分野として、一つの基本目標として掲げております。第五次総合計画では、第六次総合計画でいう基本目標1の中の1つの施策としておりました。</p> <p>これは、国において、こども家庭庁ができ、こども基本法が施行されたため、これまでより「こども」を少し幅広くに捉えられる必要があると考えたため、1つの基本目標に設定したものです。</p> <p>しかし、こどもに関する取組はいくつかの施策分野に関わってきます。基本目標1の「健康」や「母子保健」などが関連していますし、都市基盤整備や教育といった分野にも関連があると思えます。第六次総合計画においては、この「こども」に関する取組をどのように取り扱っていくかが1つのポイントとなると考えています。そこで設定しているのが、「まちづくりの基本方針」の(3)「子育てしやすいまち」の魅力を高めます」です。これは、8本の基本目標を「子育てしやすいまち」の魅力を高める」という切り口で横断的に横串にさすイメージです。加えて、個々具体的な施策としても拡充し、1つの基本目標に設定しております。</p> <p>つまり、縦の方にも太くし、分野を横断して連携して「こども」に関する取組を進めていきたいと考えております。</p>
岡崎委員	<p>基本目標が部単位で設定されているため、縦割りのイメージがあります。横串をさしてしっかりと進めることができる体制づくりをお願いしたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>ただ今の意見から、子育てやこどもに関しては、現行の</p>

	<p>総合計画でも、子育て世代が選択しやすいまちをつくるというところを重点的に審議した経緯があります。</p> <p>そういった意味で、現行計画をさらに充実させるという発想だと思います。やはり子育て世帯が選択しやすいまちというのは、尾張旭市が例えば、隣接する長久手や日進に比べて、何が比較優位なのかというところが非常に重要になってくると思いますので、これまでの子育て支援に関するまちづくりの実績を踏まえて、そういった比較優位な点をより出していけるといいと思いますし、せっかく基本方針となるため、重点的な取組かつ横断的な取組となるため、そのあたりが表現できると良いと思います。</p>
政策企画係長	<p>現行計画でもありましたが、近年、「こどもの権利」などが着目する重要な点の一つとして社会的に問題となっていると思います。そのあたりについても、こどもの可能性を拡げるといった言葉を総合計画の一番大切な基本構想に記載しました。また、「子育て」というと親目線になってしまうため、こども目線での表記とするため、基本目標2の分野は「こども・子育て」と分野を表記しております。</p>
鈴木委員	<p>基本方針に「「自分らしく」を応援します」と「「子育てしやすいまち」の魅力を高めます」が並記されています。「自分らしく」を多様性と捉えた際に思いつくのが、「LGBT」や「独身でいたい」という意思を尊重することや「子どもを産みたくない」という意思を尊重することです。</p> <p>このため、「「自分らしく」を応援します」を読んだ時にシングルで生きていく人への支援などが思い浮かび、独身でも生きていきやすいまちをめざすのかと思いましたが、一方で次の項目に「「子育てしやすいまち」の魅力を高めます」という家族を想起させる記載がありました。これらをどのように両立させていくのだろうと疑問に思いました。</p>
企画課長	<p>価値観が多角化多面的である社会において、今後、まちづくりを進めていく上で、行政が価値観を押し付けるということは、あってはならないことだと考えています。そういった中で大切となる多様性をしっかりと認めていくことを、基本方針(2)の「「自分らしく」を応援します」で表現しています。</p> <p>「「子育てしやすいまち」の魅力を高める」ためには、ある一面的な光の当て方をすることによって、良い人もい</p>

	<p>れば、逆に傷付く方も出てくることも十分に念頭に置きながら、様々な取組を進めることが必要と考えております。</p> <p>実は、基本方針(4)に、「「人とのつながり」を大切にします」とありますが、「私は1人で生きていきたい」という方のそういった価値観を認めてもらえないのかというようなことが、例えば基本方針(2)「「自分らしく」を応援します」とバッティングするのではないかとといった意見も、検討段階ではでてきました。こういった一見矛盾するような部分を、どういう風に説明をしていくことができるか検討していきたいと考えております。</p>
政策企画係長	<p>多様性など一人ひとりの希望を1番重視することが大切だと考えております。めざすまちの未来像にある「笑顔あふれる」には、一人ひとりが気持ち良く生活できるという意味合いが含まれております。</p>
鈴木委員	<p>家族を応援するとどうしてもシングルの人たちに税負担が増えるということにつながってしまうのではと心配してしまっただけ、どちらを重視していくまちとなるのかと思いました。</p>
岡崎委員	<p>基本方針は、(1)から(4)までは、優先順位の順と捉えればよろしいでしょうか。</p>
企画課長	<p>基本方針の項目間に優先順位はないと考えております。</p>
岡崎委員	<p>基本方針(3)の「「自分らしく」を応援します」について、「応援」というと、「はい、頑張っただけ」というイメージがあります。</p> <p>「支援します」では、表現が固くなってしまうからと検討した中で、こうした言葉を使ったと思いますが、軽く捉えられないようにしなければいけないと思います。</p>
伊藤会長	<p>そういった意味では、「応援」という言葉は、一步踏み込んでいます。これまでのまちづくりは、市民活動の舞台づくりであり、その舞台上で演じるのは、市民一人ひとりとなり、それぞれに演じてもらうことであつたため、そういった意味では、行政が積極的にバックアップしてくれるのかとも捉えられる表現となっています。表現の仕方で、受け止め方が変わってくると思いますので、一度検討してほしいと思います。</p>
企画課長	<p>基本方針の(1)～(4)の「何々をしていきます」という表現について、必ずしも主語が行政になるものではなく、「市民の皆さんが応援します」や、「事業者の皆さんが応援します」といったように、まちづくりの基本方針がやや行政</p>

	<p>寄りの要素を含んでいることは間違いないですが、全てが行政の取組ではなくて、市民の皆さんと一緒に頑張ってめざすまちの未来像の実現をめざすといった中においては、市民同士の応援など、そういったことも想定できるのではないかと考えております。</p>
伊藤会長	<p>現在の文章の構成上、今の説明は少し難しいと思いますので、文章の構成で分かるようにした方が良いと思います。</p>
企画部長	<p>今回の第六次総合計画の策定におきましては、庁内でも様々な議論がございました。</p> <p>その中では、最初に意見のありましたように、第五次総合計画までは、比較的まちづくりを中心に担ってきたところでございます。近年では、人口が減少していく世の中で、ある意味まちの間で人を取り合う、そういった競争が激化していくような時代背景がございました。このような時代においては、やはり「人」に着目して今回は、策定していくべきという方針が、第六次総合計画の中では、意思統一されたと考えております。そうした中においては、各項目の説明部分が説明しきれているのかというと、欠ける部分もありますので、皆様方には、そうした部分も含めて、色々と御意見をいただき、計画に反映させていきたいと思っております。</p>
森委員	<p>第五次総合計画までは、形のあるものがずっと出てくるイメージでありましたが、今回は形よりも、人と人の心の部分をどうやって作り上げていくか。それを行政だけが作っていくと思われるとちょっとという説明もありました。</p> <p>心の部分はなかなか作りにくいと思います。これを見た人たちがどう捉えるかは、人それぞれとなります。形のあるものであれば、「これをめざして」ということがしやすいと思います。</p> <p>「自分らしく」や「子育てしやすい」、「人とのつながり」といった気持ちの部分が非常に大きく出ていますので、それを簡単に短い文でどのように表現していくかというところだと思います。</p>
朝見委員	<p>今の意見を受けて、ここで表現できなくても、イメージボードや動画などで表現すると良いと思います。また、まずは、庁内の職員の働き方も変えなければいけないと思います。</p> <p>仕組みや組織を作って、オペレーションをやって、「も</p>

	<p>の」ができれば良いことを尾張旭市が目指さないと方向転換するとなると、市の職員の方もついていけなくなると思います。この辺が結構重要だと思っていて、企画部が先頭を切ってやっていくことだと思いますが、職員の働き方が変わる振る舞いと同時に、自主性を持った社会福祉協議会や自治会に示すことにより、なんとなくみんながこの総合的なイメージを持つように仕掛けをしていくことが必要だと思います。</p> <p>この文章のみで表現しきれないことを数々やっていくと思いますが、そんなような認識を持って期待して聞いていました。</p>
企画課長	<p>文章の中でできる限り表現していけるように努力していきたいと思います。</p> <p>その上で、様々な仕掛けを市民の皆様に伝わる形で進められるかが大切です。人によっては、文章を読む方が良い人もいれば、少し感性に訴える方がより伝わるという方もいると思います。特に最近の若い方は、そういった傾向があるかもしれませんが、仕掛けづくりという中では、本質的な部分を意見してもらったため、勉強しながら進めていきたいと考えております。</p>
星野委員	<p>基本方針に、「暮らしやすさ」に「楽しさ」を」とあります。私は、車の運転ができないため、市営バスあさび一号を利用しています。とても便利で助かっていますが、現在は西ルート、東ルートの2ルートとなっているため、東西のルート以外も検討してほしいと思います。</p> <p>また、あさび一号のほかにも、歩いて市内の場所に行きたいと思いますが、行くところがないのが現状です。今後、「楽しさ」のところを考えてもらいたいと思います。</p>
企画課長	<p>市民アンケートや市民ワークショップを通じて、市内の皆様からは、一定程度、満足感を得ているというホッとする結果がございました。</p> <p>そういった中で、足りないのは何かというと、「楽しさ」の部分がこれまでのまちづくりの中では、足りなかったのではないかとございまして。星野委員からの御意見のとおり、「楽しさ」というところが、今後のキーワードになると考えております。</p>
山本委員	<p>全体を見るとすごく無難で良い案だと思います。基本方針(2)に「自分らしく」とありますが、尾張旭らしさがどこにあるのかと感じました。やっぱり名古屋市のまねごとを</p>

	<p>ずっと続けているようにしか見えないし、一方で長久手は長久手で、自主性を重んじたから人口が増加していると思います。</p> <p>私たち親世代も、子育てする上でどこに家を買おうと考えた時に、みんなその地域の特性をちゃんと調べながら、自治体の状態も確認して住んでいて、やはり名古屋市は福祉が充実しているからとか、長久手は交通の便がいいからとか、旦那も仕事に行きやすいなどを理由に選ぶと思います。</p> <p>それに対して、尾張旭は、平和だからという無難な意見が多いように感じます。ただ、自分はそれで住んでいて周りの人たちもすごく楽しいし、ママ友などもいまだに仲良くしているぐらい過ごしやすいと感じています。そんないいところなのに、良いメリットが全然現れないままで、内輪だけで「尾張旭っていいところだよ」で終わってはいけないと思います。</p> <p>このため、尾張旭の独自性を出せるものが必要だと思います。高齢化で、2040年からは在宅で看取れるようにしていこうと国が言っているから、それに向けて、在宅福祉や医療などの分野で尾張旭のベースづくりをし、それを受けて尾張旭の在宅での死亡率を上げるとなれば、尾張旭って地域だったり、家族だったり、市をもってみんなを守ってくれるという風に実感し、これから住む人や高齢化を迎える人にとっては住みやすいと思います。また、こどもたちの保育園に関して、病児保育がすごく大切で、母親はこどもが熱を出したら休むことになってしまう。でもそれは、核家族が多く、周りがいないからであって、特に長久手はそういった時に休む人が多いと感じます。尾張旭は、結構自分の両親が近くに住んでいることなどが多く、尾張旭の方は、両親に預けて働いてくれる。それは、職場にとって、すごくメリットだと思います。それも一つの独自性だと思いますが、表現できていない。そのまま、良いところばかりが沈んで「名古屋市いいよね」となってしまうのは寂しいと思いますので、もう少し尾張旭らしさのある方針があると、それを見て、「尾張旭っていいよね。住もうかな」となると思います。</p>
企画課長	<p>尾張旭らしさをPRするのが、比較的苦手な市として、これまで50年間過ごして来たと思います。そうした中では、総合計画のフレーズというのは、災害が少ないといっ</p>

	<p>た部分も含めており、比較的色々な要素を入れられるような方針となっていることは否めないと思っております。</p> <p>御意見のような、こんな見方ができるといったところを、是非、今後も部会を通して教えていただき、それぞれの取組を進めていく中で、シティプロモーションというキーワードもございましたが、どうやって市外の方にもそれを伝えていけるかというところが、これからのまちづくりにとって、1つのキーになると思っております。</p> <p>総合計画の基本構想での表現については、どのような形が取れるのか検討していきたいと思っております。</p>
伊藤会長	<p>その他意見等がありますか。</p> <p>(意見なし)</p>
伊藤会長	<p>基本構想案の審議は、今日で完結するわけではありません。施策の審議を進める中で、基本構想部分に対する意見も出てくるかと思っておりますので、その際に御意見をいただければと思っております。その他、御意見がなければ、今日の調査審議は、これで終えたいと思っております。</p> <p>本日、様々な御意見がありましたけれども、御意見に対する回答は、先ほど説明した部分もありますけれども、企画課の中で検討していただきたいと思っております。</p> <p>続きまして、次第の3、その他としまして、企画課から、説明をお願いします。</p>
政策企画係長	<p>(部会資料1 部会について、部会資料2「施策別指針(素案)の見方 説明」</p>
伊藤会長	<p>ただいま、今後の各部会の日程確認、それから資料の見方の説明がありました。</p> <p>松宮委員におかれましては、各部会の部会長をお願いしておりますので、どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>また、本日欠席されております三浦委員に対しましては、企画課から改めて説明してください。</p> <p>それでは、本日、基本構想の内容を確認しましたが、より具体的な各施策の内容を調査審議していくと、未来像や基本方針も含めた基本構想についても意見が出てくると思います。</p> <p>このため、先ほどの企画課の説明にもありましてとおり各施策の内容の調査審議に合わせて、基本構想についても、御意見を伺うタイミングを各部会でも設けていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、各部会の進め方について、各委員の皆様から</p>

	御意見や御質問等があれば、御発言いただきたいと思いますが如何でしょうか。
岡崎委員	部会の資料は、本日配付された資料でよろしいでしょうか。
政策企画係長	本日配付した資料を基に調査審議していただくことを予定しております。
伊藤会長	続きまして、次第の3、その他としまして、企画課から、連絡事項などがあれば、お願いします。
企画部長	<p>本日は、基本構想の素案の審議ということで、総合計画の非常に幅広い中から、かなり絞り込んだ中での議論であったと思います。皆様からいただいた御意見について、今一度確認して、企画課の方でとりまとめを進めていきたいと思っています。</p> <p>本日は、長時間に渡り御審議を頂きまして、ありがとうございました。次回以降もよろしくお願いします。</p>
伊藤会長	以上をもちまして、第2回全体会を終了いたします。御協力ありがとうございました。